終ニ臨ミ豫算案ニ付テハ御審議ノ上速ニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス。

日本經濟聯盟會第十回總會ニ於ケル大藏大臣演說（昭和七年四月二十五日）

一、日本經濟聯盟會ハ創立以來既ニ十年ノ星霜ヲ閲セラレ其ノ間我國產業ノ進步發達ヲ圖ルガ爲財政經濟上ノ問題ニ關シ屢々重要ナル意見ヲ發表セラレ殊ニ國際經濟問題ニ就テハ克ク各國實業團體ト協調ヲ保ツテ其ノ圓滿ナル解決ニ貢獻セラレタルコト一再ニ止ラズ。內外財界ニ對スル功績勘カラザルモノガアリマス。私ハ本會ガ今後一層其ノ目的ノ貫徹ニ努力セラレ益々國家社會ノ爲ニ寄與セラレムコトヲ希望シテ止マナイモノデアリマス。

一、我財界ノ現狀ニ於テ最モ憂フベキ點ハ通貨ノ循環流通ガ滑カナラザルコトデアルト考ヘマス。今日世間一般ノ聲ノ如クニ通貨ガ不足シ信用ガ缺如シテ居ツテハ到底產業ノ振興ヲ望ムコトハ困難デアリマス。此ノ通貨

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp
0000 1037

並ニ信用不足ノ原因ニ就テハ我國ノ銀行券發行ノ制度ガ久シキ以前ニ定メラレタ儘デアッテ今日ノ事態ニ適合スル機能ヲ缺イテ居ルガ爲デアルト認メラレマスカラ政府ハ來ル臨時議會ニ之ガ改正案ヲ提出シテ通貨ノ供給ヲ今日ヨリモ容易ニシ度イト思ッテ居リマス。尤モ通貨ノ供給ハ農商工業等ノ正當ナ取引ノ調整ニ必要ナル分量ヲ以テ實質標準ト爲シ由テ以テ健全ナル通貨ノ膨脹ヲ實現セシムルコトガ肝要デアリマス。

一。發券制度ニ次イデ我財界ノ一大缺陷ト認ムベキモノハ我國ノ金融機關ニ統制ノ力ガ無ク相互ノ連絡ヲ缺イテ居ル點デアリマス。申ス迄モナク我國ニハ中央銀行ガアリ其ノ外ニ多數ノ特殊銀行及普通銀行ガ存在シテ居ッテ金融機關トシテノ種類及系統ハ具ハッテ居ルノデアリマスガ此等機

0000 1038
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

關相互ノ間ニ十分ナル協調ガ保タレテ居ナイ。民間ノ大銀行ノ中ニハ中央銀行ヨリ資金ノ融通ヲ受クルコトヲ恥辱ト考ヘルモノガアリマス、尤モ倫敦ニ於テハ市中銀行ガ英蘭銀行カラ資金ノ融通ヲ受ケルコトハ自行ノ信用ヲ失墜セシムル所以デアルトシテ之ヲ嫌忌シ、却ツテ英蘭銀行ニ對スル多額ノ預金ヲ以テ中央銀行ノ貸出資金ヲ援助シテ居ルモノト自負スルノ風ガ行ハレタコトガアリマスノデ、我國ノ大銀行モ或ハ此ノ例ニ依ラムトスルモノデアルカモ知レマセヌガ、我國ト英國トハ其ノ國情ヲ異ニシテ居ルト云フコトヲ忘レテハナリマセヌ。又我普通銀行ト中央銀行トノ間ニハ平素ニ於テ十分ナル理解ガ成立シテ居ラヌモノモアリマスガ爲、一旦資金ノ必要ヲ生ズルトキハ、自行ノ獨力ヲ以テ資金ノ調達ヲナサナケレバナラヌ結果急激ナル債權ノ取立ヲ行フ等各種ノ弊害ヲ釀ス

ニ至ルノデアリマス。此ノ如キ狀態デハ例令發券制度ヲ改メテ通貨ノ供給ヲ潤澤ニ致シマシテモ到底金融ノ圓滑ナル疏通ヲ期スルコトガ出來マセヌカラ、今後出來得ル限リ此等金融機關ヲシテ相互ノ協調連絡ヲ保タシムル樣方法ヲ講ジ度イト思ヒマス。

一、近年地方金融界ガ兎角平穩ヲ缺イテ居ルコトハ寔ニ遺憾トスル所デアリマス、之素ヨリ一般財界ノ不況ニ基ク所デアリマスガ地方銀行ガ不動產貸付ニ資金ヲ放出スルコトハ國情已ムヲ得ザルコトデアルト言ハネバナリマセン。故ニ地方金融界ノ改善ヲ圖ルガ爲ニハ此等ノ不動產抵當債權ヲ資金化スルノ方途ヲ講ズルコトガ急務ト考ヘマス。近頃世間ニ於テモ之ニ關シテ種々ノ意見ガ行ハレテ居リマスガ、政府ニ於テモ目下本問題ニ就テ調査研究ヲ進メテ居リマシテ適當ナル案ヲ樹テテ最近ノ臨時議會ニ提出スル考ヘデアリマス。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一、次ニ世界經濟ノ大勢ヲ見マスルニ不況ハ益々深刻ヲ加ヘツツアル有樣デアリマシテ、之ニ伴ヒ各國何レモ自衛ノ策ヲ講ジツツアルコトハ申ス迄モアリマセヌガ、最近ニ於ケル現象トシテ吾々ノ特ニ注意スベキ點ハ、今ヤ世界ノ各國ハ競ウテ國民經濟ノ自給自足主義ニ徹底セントシテ居ルノ事實デアリマス。即チ從來ノ如キ外國物資ニ對スル障壁トシテ高率ノ關稅ヲ課スルコトノミヲ以テ足レリトセズ、或ハ外國貿易ノ管理ヲ行ヒ或ハ特定商品ノ輸入禁止ヲ斷行シ、更ニ進ンデ輸入品ニ對スル割當制度ノ適用又ハ國內生產物ノ使用强制ヲ爲ス國モ多數ニ上ルニ至リマシタ。從ツテ各國間ノ貿易取引ハ益々不自由ナル趨勢ニ進ミツツアルノデアリマス。此レ最モ注意ヲ要スルコトデアリマス。

故ニ我國ノ貿易業者及ビ生產業者モ常ニ海外ノ事情ニ留意シ輸出品ノ

生產等ニ當ツテハ需給ノ狀態ハ勿論各國ノ法制、各種ノ統計等ニツキ周密ナル調査研究ヲ遂ゲタル後之ヲ行ハナケレバ不測ノ損害ヲ招クニ至ルノデアリマセウ。

尚各國ノ狀勢右ノ如クデアリマスカラ我國トシテモ國內產業ノ保護振作ヲ圖ルト共ニ國際的競爭ニ善處スル爲關稅改正ヲ行フ必要アリト認メマスノデ之ヲ來ル臨時議會ニ提案致ス決心デアリマス。

一、今日ノ不況ハ世界的デアルト謂フコトハ一般世人ニヨツテ唱ヘラレテ居ル所デアリマスガ、均シク不況ニ直面シテ居リマシテモ國ニヨリ自ラ事情ヲ異ニ致シテ居ル所ガアリマス。歐洲各國ノ如キハ何レモ大戰後巨額ノ對外債務ヲ負擔シテ居リ、殊ニ賠償債務ヲ負擔セル獨墺其他ノ諸國ノ如キハ國民努力ノ果實ハ概ネ之ヲ賠償債權國ニ奪ハルルノ窮境ニ在リ。

又英米佛ノ如キ債權國モ債務國ガ支拂不能ニ陥ルガ如キ場合ニ於テハ忽チニシテ自國ノ財政及經濟界ニ苦痛ヲ感ゼネバナラヌ立場ニ在ツテ何レモ國際貸借ノ重壓ニ呻吟シテ居ルノデアリマス。然ルニ我國ハ賠償ニ基ク巨額ノ對外債務ヲ[illegible]存シナイコトハ寔ニ幸福ナコトデアリマシテ、此點ニ於テハ我國ハ今日ノ如キ不況ニ對スル對抗力ニ於テ他國ニ比シ優レル所ガアルトモ謂ヒ得ルノデアリマス。故ニ私ハ此際我國民ガ擧國一致ヲ以テ奮勵努力致シマシタナラバ此經濟難局ニ十分善處シ得ルデアラウト謂フコトヲ確信致シテ居ルモノデアリマス。

一、以上述ベマシタ所ニ關連シテ私ハ本會ニ對シテ一ノ希望ヲ申述ベタイノデアリマス。即チ現在ノ財界ハ内外共ニ頗ル複雜ヲ極メテ居リマシテ之ニ善處シテ過チ無カラシムル爲ニモ將タ又財界ノ諸現象ニ關スル眞相ヲ

理解シテ適正ナル對策ヲ講ズル上ニ於テモ餘程愼重ナル研究ト專門的ナ實際智識トガ必要デアルト考ヘマス。故ニ本會ノ如キ各方面ニ於ケル專門家ヲ多數網羅シテ居ラレル所デハ平生ヨリ財政經濟ニ關スル諸問題ニ就テ豫メ部門ヲ分ツテ置キ各部門ニハ之ニ堪能ナル會員ヲ配シテ常時周密ナル調査研究ヲ繼續セラレタイノデアリマス。若シ此ノ如キ方法ヲ以テ得タル成果ガ機ニ臨ミ時ニ應ジテ本會ノ意見トシテ外部ニ發表セラレタナラバ其ノ發言ハ必ズヤ權威アルモノトシテ輿論ノ尊敬ヲ享ケ其ノ內容モ亦恐ラク適切ニシテ政治上ニモ經濟上ニモ裨益スル所多カルベク從ツテ又其ノ效果ハ極メテ大デアルコトヲ疑ハナイノデアリマス。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp